



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2025.10.15 (No.3261)
週報 No.14

ロータリーで善の循環を

第2560地区ガバナー／室賀 信 宏
会 長／柳 取 崇 之
会長エレクト／小 林 吾 郎 (クラブ奉仕A)
副 会 長／吉 井 直 樹
幹 事／早 川 滝 徳
S A A／長谷川正実
会 計／船 越 良 則
直 前 会 長／渡 辺 良 一
会長ノミニ／明田川賢一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
<https://www.sanjorotary.site>

■本日の出席会員数:56名中35名
■先々週出席率:81.82%



「2025.10.12 ワインレストラン 葡萄の花 (浦佐) にて小林卓哉会員演奏」
(投稿者: 荻根澤隆雄 会員)

会 長 挨拶

柳取崇之 会長



皆さんこんにちは。

今月は米山月間ということで、本日の卓話は米山記念奨学委員長の高橋俊樹さんです。どうぞ宜しくお願い致します。

また先週、親睦旅行に参加された皆様大変お疲れさまでした。若干アクシデントがあったものの全行程無事に終了することができました。ありがとうございました。

スポーツの秋本番です。先日の日曜日に新潟シティマラソンが開催され、当クラブ会員の小林吾郎さん、渡部宏さん、野水靖之さんがフルマラソンに参加されました。日頃から節制され、鍛錬されていることに対して敬意を表する次第です。大変お疲れさまでした。

さて、ここの所の話題は何ととっても獣害ではないでしょうか？特に熊の被害や目撃情報が毎日のように報道されています。

先週の親睦旅行先の善光寺の参道近くにも深夜の時間帯ですが、熊が出没したとニュースで言っていました。

また、下田、栄地区においても出没の報告が多く朝晩の外出は特に気を付けて頂きたいと思います。

大浦地区においては車と鹿の事故もあったようで、もともと鹿が生息していない地区ですから大変驚きました。

**よいことの
ために
手を取りあおう**

2025～2026年度国際ロータリー会長メッセージ

私たちの生活においても気候変動等の環境が大きく変わってきており対応することが難しい状況でありますので、動物の生きる環境も大きく変わっているのだと思います。

これから本格的な秋の行楽シーズンに入り、紅葉見学等で山へ出かける機会が多くなると思いますが今までの常識にとらわれず、獣害に対する準備を怠りなく注意しながら楽しんで頂きたいと思います。

以上、挨拶を終わります。

幹事報告



早川滝徳 幹事

◎室賀ガバナー事務所より

「地区大会記念ゴルフ大会の御礼」

◎第4分区 青柳ガバナー補佐より

「第4分区IMの御礼」

◎新潟ROTEX会より

「新潟ROTEX会の発足と地区大会での物販のご案内」
新潟県内のロータリー青少年交換プログラムを経て帰国した学生たち(ROTEX)によるROTEX会が発足しました。発足を記念し、地区大会にてオリジナルグッズの販売を行います。

〈販売物品〉ROTEX会オリジナルポロシャツ

◎三条ローターアクトクラブより

「10月第二例会のご案内」

日 時 10月16日(木) 19:30～

会 場 リサーチコア 4階・異業種交流室

◎富山ガバナーエレクト事務所より

「富山年度クラブ会長幹事ラーニングのご案内」

日 時 11月1日(土) 13:00～18:30

会 場 あてま高原リゾート ベルナティオ(十日町市)

◎地区財団委員会より

「補助金管理セミナーのご案内」

日 時 11月29日(土) 12:30～16:00

会 場 ホテルイタリア軒

ニコニコBOX

柳取崇之 会長

親睦旅行に参加した皆さん、大変ありがとうございました。

早川滝徳さん

親睦旅行、大変お疲れ様でした。

ただ、私の不注意で1日目夜に8針縫う怪我をしまい、同行の皆さんには大変ご迷惑ご心配をお掛けしました。皆さんのおかげで帰って来られました。友情に感謝です。

高橋俊樹さん

本日卓話をします。よろしくお願いいたします。

嘉瀬一洋さん

暑すぎず、寒すぎず、天候に恵まれた親睦旅行となりました。ご参加頂きましたメンバーの皆様ありがとうございました。小林さん夜遅くまで感謝でした。

伊藤浩志さん

初めてのロータリー旅行でした。私もお酒が飲めたらいいのになと思いました。

早川さんお疲れ様です。来年も参加します。

丸山行彦さん

親睦委員会の皆様、楽しい旅行ありがとうございました。

高橋さん卓話楽しみです。

斎藤弘文さん

親睦旅行お世話になりました。

渡辺良一さん

先週の旅行、嘉瀬親睦委員長、メンバーの皆さん、小林さんありがとうございました。楽しかったです。

高橋さん卓話よろしくお願いいたします。

関川 博さん

久々の親睦旅行、楽しく過ごせました。柳取会長、早川幹事、嘉瀬委員長、小林さんありがとうございました。

本日は高橋さん卓話楽しみです。

野水靖之さん

先週の親睦旅行、色々ありましたがとても楽しかったです。嘉瀬委員長、小林さん、参加された皆様、大変ありがとうございました。そして、日曜日に開催された「新潟シティマラソン」に人生で初めてフルマラソンに挑戦してきました。残念ながら、約39kmで体力の限界を迎え、途中リタイアとなりましたが、高橋Qちゃんと写真を撮ったり、走っている姿をテレビに映されたり、良い経験をさせて頂きました。

完走した小林吾郎さん、渡部宏さん、中村友昭さんは本当にスゴイアスリートです。

渡部 宏さん

新潟シティマラソンなんとか完走しました。一緒に参加した吾郎さん、野水さんお疲れ様でした。

西山徳芳さん

香りのバラ展を開いている国営越後丘陵公園へ行って来ました。香りを楽しませてもらって、幸せな気分でした。

荻根澤隆雄さん

12日の日曜日に小林卓哉会員のピアノ演奏に行ってきた。大変に良かったです。

また、高橋俊樹会員、本日は卓話ご苦労様です。

中林順一さん

長野大町へ庭を見に行ってきた。秋らしくなりました。

菊池 渉さん

秋らしい日です。お陽様にたっぷりあたって少しは元気を出したいと願っています。

船越良則さん、高橋 司さん、石倉政雄さん、
渋谷政道さん、安達俊明さん、松永一義さん、
小越憲泰さん、松永隆夫さん、小林卓哉さん、
明田川賢一さん、山田富義さん

高橋俊樹さん、本日は米山月間卓話ありがとうございます。

お話楽しみにしております。

10月15日分 ¥ 35,000
今年度累計 ¥526,000



「米山月間」

高橋俊樹 米山記念奨学 委員長

米山記念奨学事業は1952年、東京ロータリークラブが発表した米山基金に始まります。日本のロータリーの創始者である、米山梅吉氏の生前の功績を称え、後世まで残るような有益の事業を行いたいと、当時東京RC古澤丈作会長が構想を発表しました。

海外から優秀な学生を招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、平和日本を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリー会員の強い願いがありました。

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の架け橋になる人材を育てます。

将来、日本と世界とを結ぶ架け橋となり、国際社会で活躍しロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。

これは、ロータリーの平和と国際理解の推進そのものです。



Yoneyama Umekichi

奉仕の人 米山梅吉

米山梅吉は、慶応4年(1868)大和高取藩士和田竹造の三男として、東京芝田村町に生まれた。5歳の時に父を亡くし、母の実家三島に移り住んだ。幼少より英才の誉れ高く、望まれて長泉村の旧家米山家の養子となった。旧沼津中学を経て上京し20歳で渡米。苦学力行、オハイオ州ウエスレアン大学等に学び、28歳で帰国した。帰国後、三井銀行入行。若くして重役に就任、三井信託株式会社(のちの信託銀行)初代社長も務めた。

一方社会奉仕活動では、大正9年(1920)日本に初めて国際ロータリーの思想を導入。東京ロータリークラブを創設し初代会長に就任。日本ロータリーの父と仰がれている。また三井報恩会理事長として農村振興や医療・学術研究の支援、青山学院緑岡小学校、同幼稚園を設立寄附、郷里の長泉村に米山文庫(図書館)を寄附するなど、生涯を通じて国際奉仕、社会奉仕の道を貫いた。



THE YONEYAMA UMEKICHI MEMORIAL HALL

米山梅吉 略歴

- 慶応4(1868) 東京芝田村町に生まれる 父和田竹造・母うた
- 明治5 三島に転居
- 明治8 映雪舎(長泉小前)入学
- 明治14 沼津中学校入学
- 明治20 米山家入籍 渡米
- 明治28 帰国
- 明治29 米山はると結婚 「提督ベルリ」出版(渡海舟遊学)
- 明治31 三井銀行入行 銀行業務調査のため欧米出張
- 明治42 三井銀行常務取締役
- 大正2 外国為替調査のため欧米出張
- 大正3 「新報選録」出版
- 大正6 政府派遣財政経済委員として米国出張
- 大正7 「起る米山」出版 大正天皇に拝謁金貨下賜 渡支
- 大正9 国際ロータリーの思想を日本に導入
- 東京ロータリークラブ創立 初代会長
- 大正10 長男 東一郎死去 渡米(英米訪問実業団)
- 大正11 ハーディング大統領、野口英世博士訪問
- 大正13 歌日記「八十七日」出版 義父 藤三郎死去
- 三井信託創立 初代社長
- 国際ロータリースペシャルコミッショナー
- アジア地区にロータリーを拡大
- 大正15 次男 繁二死去
- 昭和2 「銀行行余録」出版
- 昭和3 「ロータリーの創設者ポール・ハリス自叙伝」訳書出版
- 国際ロータリー第70区ガバナー
- 昭和4 養母 せく死去 紺綬褒章 受章
- 昭和5 三男 桂三を併い渡米 グラスのロータリー世界大会出席
- 昭和6 歌集「東また東」出版
- 昭和7 郷里長泉村に米山文庫(図書館)を寄贈
- 昭和7 三井合名会社理事 歌集「四十集」出版
- 昭和9 財団法人 三井報恩会 理事長
- 昭和9 「幕末西洋文化と沼津兵学校」出版
- 昭和11 「常道開門」出版
- 「ロータリーの理想と友愛」訳書出版
- 昭和12 青山学院緑岡小学校創立 校長就任
- 昭和13 「看雲録」出版 貴族院議員勲選
- 昭和15 戦争のため東京クラブ解散
- 昭和17 勲四等瑞宝章 受章
- 昭和19 長泉村下土村に疎開
- 昭和20 東京青山本部戦災損失 病中を被爆国に豊隆
- 昭和21 長泉村下土村別荘において死去78歳
- 昭和30 はる夫人 死去81歳

館内のご案内



第2展示室 創立から近年に至る日本のロータリーの歩み、ロータリー米山記念奨学会資料を展示しています。



特別展示室 米山翁筆跡、遺品、書籍、書簡等を展示しています。



ホール 120度 移動舞台 一般利用可(ピアノ有)



米山梅吉墓所 前近接徒歩3分 (いざかひもなき墓々の静かな)



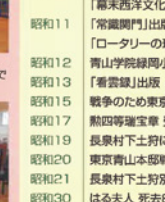
ビチャウラタクル川合長 記念樹植及記念碑 昭和2002年11月27日建立



米山文庫 こども図書館 旧米山記念館に復元した図書館。 広く一般に開放しています。



こども図書館 1F 国産の杉板張り、東足で歩け、木が一目で見渡せる館に囲まれています。



休憩所 2F 読書フロアと休憩所 (飲み物、軽食可能)

委員長セミナーより

●2560地区ガバナー 室賀信宏 様

米山奨学生はロータリーファミリーの一員である。ロータリーファミリーを広げるために、クラブに本日の米山奨学生学友のお話を伝えていただき、より一層米山奨学生制度についてクラブで深い理解をしていただき、そして寄付の増進をしていただく。寄付はロータリーにとって強制ではありませんし、まして義務でもありません。米山奨学制度についてみなさんが深く理解をいただき、クラブに帰り寄付の増進に努めていただきたい。

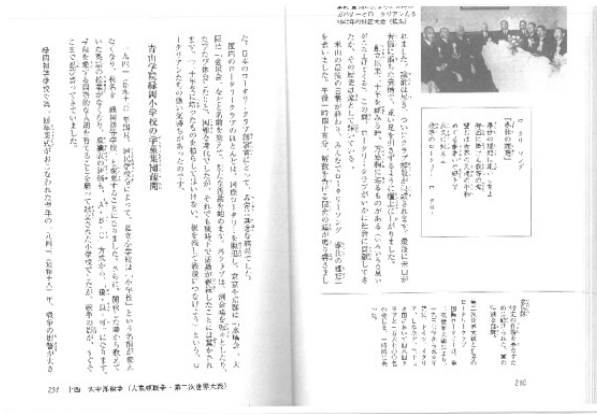
●米山記念奨学委員長 渡辺嘉子 様

米山奨学金はみなさんもお存じの通り外国人留学生を支援する奨学金になります。しかし最近、日本人の学生も困っているのになぜ外国人支援なのかよく質問されます。その気持ちはわたしもよくわかります。しかし米山委員になって、毎年奨学生と接していると米山奨学生になってロータリアンやカウンセラーの皆さんと出会って日本の家族の一員となり、皆さんと心と心の交流をしていくうちに、彼らは日本の心を感じ成長し、奨学期間が終了後には日本の心を持った学友になっていく、そういうふうになっております。そしてまた米山の事業の目的の1つに成果が見えることとあります。奨学期間を終えて学友になって社会で活動、活躍をしている学友たちの姿そのものの。その姿を見るその成果として知ることができる。1人でも多くのロータリアンにこの成果を見ていただいて、この奨学事業を理解していただきたい。本日は学友の講演として、昨年度まで奨学生だった4名にスピーチをしていただきます。学友と奨学生の声を聴いていただきたい。

●寄附増進委員長 織戸潔 様

奨学事業の理解の促進・寄付の増進・奨学生学友の交友促進である。

2560地区個人平均17,316円。地区の目標は20,000円である。普通寄付と特別寄付があり、普通寄付はクラブによって2,000円のところもあれば10,000円のところもある。一番多いのが4,000円のクラブ寄付になっている。普通寄付というのは安定財源として各クラブが決定したもの。それを毎年全クラブから納入していただいているもの。こちらが前年度880万円。さらに重要なものが特別寄付であり、こちらは個人や法人からの任意の寄付になっており、こちらが2,600万円ほどあり、合計すると約3,500万になる。先ほど申し上げた20,000円の目標を54クラブ中18クラブが数値



米山委員長となりロータリー経験も浅い中、米山記念奨学事業が分からなく委員長セミナーに参加させて頂きましたが、奨学生の体験活動発表とあまり内容が掴めない事で、静岡県三島市米山記念館へ訪問し学んできました。

◆米山梅吉氏 (1868-1946)

東京、柴田村町生まれ。5才で父親と死別し、母のお里静岡県三島長泉村に移り12才の時に地元の名士である長泉の米山家から養子にという話が持ち込まれました。

米山家は400年も続く家柄で、先祖は駿河の守護(領主)、今川家の旗本(主君に直接仕える武士の身分)。13代、米山藤三郎はのちの長泉村の村長。米山家は一人娘の春子(戸籍名はる)だけでした。優秀で利発な梅吉氏は米山家の跡取りとして期待されました。後の妻が米山家の一人娘のはるです。

19歳で渡米、帰国後は新聞記者から三井銀行入行。遣米使節団としてアメリカ滞在中にダラスRC会員、福島喜三次と出会い1920年日本で最初の東京ロータリークラブを設立しました。晩年は三井報恩会を通じて、社会・医療・文化事業を支援し、私財を投じて緑岡小学校と幼稚園を設立するなど教育にも献身しました。



米山梅吉翁肖像画

目標を達成している。率にすると3割は達成しているが7割は達成できていないことになる。そうすると、数値目標が20,000円で普通寄付の平均が4,000円なので、残りの16,000円が特別寄付として年間の寄付の目標である。実質16,000円を年の12回で割ると、わずか1,300円。それをさらに1か月4週で割ると、330円ほどである。20,000円と聞くと高いイメージがあるが、分解していくと一人当たりそのくらいの金額の差であるということを改めて理解いただきたい。

これは決して義務ではなく善意による寄付です。寄付をいただくために皆さんの意識を変えてそれを行動に移していただき習慣化していただきたいと思っています。

◆ニシャジ・エブルさん

国籍トルコ 2025年4月～2026年6月 小千谷RC

私はトルコ出身で国際大学からきました。

トルコはアジアとヨーロッパにまたがり、古代から多くの文明が栄えました。イスタンブールは3つの国の首都になった歴史があり、とても有名な都市です。

地域ごとに街の雰囲気や建物が全く違うのも面白いです。トルコには270もの民族が住み、文化も宗教も多様でモスクと教会が同じところにあることも珍しくありません。内陸部は乾燥した高原が広がり、古代遺跡も多く神秘的です。トルコ料理も有名で伝統的な農産物も多いです。

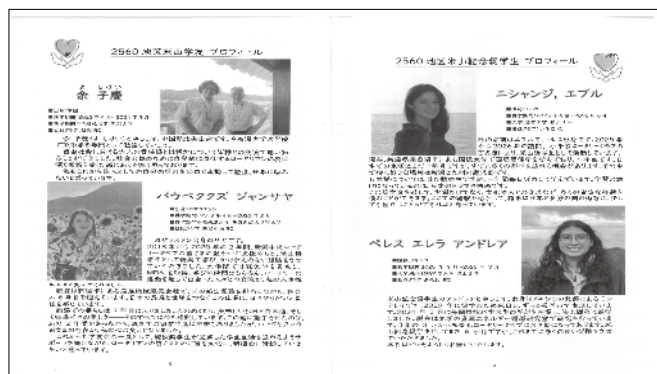
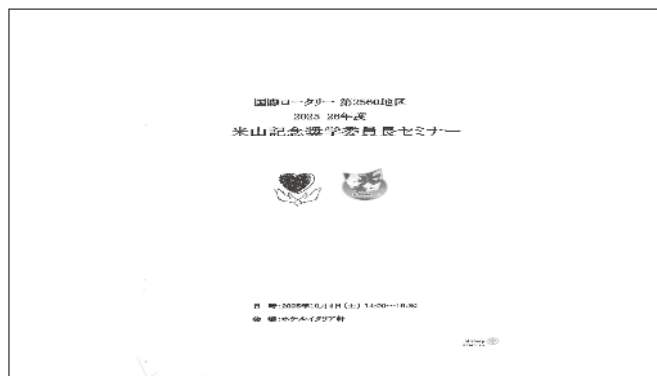
ここから自分で書いている論文についてお話ししたいと思います。自身の研究内容は簡単に言うと日本の選挙では若い世代の投票率が低いことに関する研究をしています。全国的にみると、山形県と山口県が注目されます。この一方は高くもう一方は最も低い投票率になります。私はその違いを研究しています。

留学生として一番大きな問題は海外で感じる孤独です。私も日本に来てこの問題を経験しました。最初は友達も少なく、とても不安でした。米山奨学生に選ばれました。この出来事のおかげで私の生活に素敵な人々が入りました。毎月の夕食会では日本語を話す練習ができ、少しずつ自信をつけることができました。

日本の文化や習慣について学ぶだけでなく、交流する中で日本人の暖かさや優しさを感じることができました。

最後に私の好きな言葉を紹介したいと思います。それは「植えられたところで咲きなさい」という言葉です。この言葉はどんな現況にいても自分らしく努力しその場所で輝きなさいという意味です。私の留学生活の中でこの言葉の大切さを実感しました。

これからもこの気持ちを忘れずに成長していきたいと思っています。



◆ペレス エレラ アンドレアさん

国籍メキシコ 2025年4月～2026年3月 三条北RC

私の出身はメキシコです。年齢は24歳です。学業今は大学院生で長岡で研究しています。

色々な趣味がありますが、一番好きな趣味はフィギュアスケートです。私は3歳からフィギュアスケートを履いて大学生まで続けていました。

皆さんメキシコから日本まで飛行機でどのくらいかかると思いますか。なんと15時間もかかります。

メキシコの伝統的な服として色がきれいな服が多いです。リメンバー・ミーの映画もメキシコ文化です。

私の中で日本といえば、富士山・柴犬・寿司・アニメ漫画・いろいろあります。

高校生の時に日本についてたくさん調べてとてもいい国だと思いました。だから今日本に留学しています。

日本で留学するために、メキシコの大学で1・2年生勉強をしてその後長岡技大の入学試験を受けて3・4年生で卒業しました。そうするとメキシコの大学と日本の大学の卒業証明書がもらえました。その後長岡技大でとてもいい経験がありました。

長岡市の静かなところがあってとても気に入りました。また長岡花火大会など美しい風景もたくさんありました。

メキシコの留学生が多いのであまり寂しくなかったです。

最後に奨学生経験についてです。今年の4月から米山記念奨学生になりました。今6か月くらい経ちましたが、とてもいい経験がありました。イベントでバーベキューがありました。雨が降ってしまいましたが、ほかの奨学生を紹介してもらったりしました。料理もとてもおいしかったです。

8月に奨学生の懇親会があり、新潟県内をみんなで回りました。とてもたのしかったです。

◆余子慶

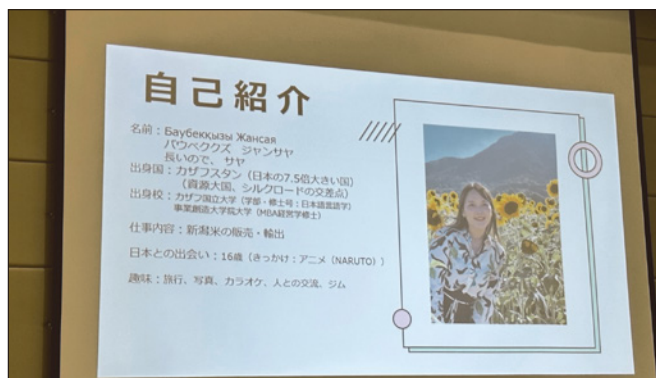
国籍中国 2023年4月～2024年9月 新潟RC

私は36才になります。奨学期間は2023年から2024年までご支援をいただけてました。

私は中国出身で2社ほど日本の会社で経験をして新潟に来ました。日本は東京・大阪・新潟を回ってきました。

実家は中国の真ん中にある湖北省という山の中にあります。山を出れるように一生懸命勉強しました。運よく大学に入ることができ、2010年に初めて日本に来ました。当時上海万博もやっていたので、そこらも見学をしました。

日本と中国は親切さが全然違います。それは日本から中国に帰った時の税関で感じました。なぜこん



なにも違うのかと思いました。その時から日本と中国の比較研究をしてきました。現在の研究内容は、陶磁器の近代化の話です。日本と中国の陶磁器は17世紀からヨーロッパへ持ち込まれていました。伝統的な影響力がある中で19世紀後半の国際市場では日本はどんどん上がって行って、中国は国際市場から脱出させられました。

日本の陶磁器は一貫して職人の名前で出されていたが、中国の陶磁器は中国で働く外国人の名前が多く残されていた。

中国の陶磁器史の中では有名な作品はたくさんあるのにも関わらず、誰が作ったのかがわからない。調べようとしても分からない。

日本は基本的にどの地域に職人がいてということが全部記されている。よって、作った人のところにちゃんと対価がいくのか、名前が記されているのかわからないのが、日本と中国の大きな差だと考えています。

近代ですと仕事をする人がしっかりと認められる、逆に中国ではそれができていなかった。個人が自分の国家を信頼するというのは個人労力の制度的な可視化が必要であって、名誉を国家と個人の間で確保しないとイケない。国家を信頼しない職人たちがいると中国のように隠れ勢力になっていく。私の研究は、公表性の概念に繋がっていくので、ロータリークラブの交流活動で響きあうような内容が多くあります。

名誉を自ら確保するという主体性で大切である。その結果より良い社会を構築していくことになる。制度的な条件として、日本においての職人、普通に働く人々と国家の信頼関係があって、市民の活動を保証する法律があって、市民と国家の信頼関係のもとロータリークラブがあるのだと思う。

中国では今はまだ難しい。市民と国家の信頼関係が弱いから、名誉をいまだに国家が管理しているので、民間の力に国家は警戒をする関係が続いている。

ロータリー奨学生になって大きな経済支援をしていただいて、ありがたく思っている以上に社会について考えられたこと。

ロータリアンの皆さんとの出会い、ご支援があったことについて改めて感謝を伝えたく、これからは公共性に対して私が努力をしていくという精神をもとに頑張っていきたいと思います。

◆バウベクズ ジャンサヤさん

国籍 ガザフスタン 2018年4月～2020年3月 新潟中央RC

日本に来て8年目になりますが、サヤと呼ばれすぎてフルネームだと違和感を感じる時があります。出身国がガザフスタンという中央アジアの世界で9番目に大きい国になります。日本の7.5倍も大きくて自然がたくさんある大国で、昔は遊牧民が存在したシルクロードの交差点という風に言われています。ヨーロッパとアジアの文化が混ざり合ったとても面白い文化を持った国です。ガザフスタン人は顔がとてもバラバラでヨーロッパ系の人もいれば中東系の人もいれば、私のように日本人のような人もいますので、いろんな文化が混ざり合った場所だと思っています。

出身校がガザフスタンにあるガザフ国立大学で学部は日本語でした。2018年に新潟にきて事業創造大学院大学で2年間経営学をまなびました。大学院生活が終わって、新潟がすごく気に入ったのでここに残りたいと思って、新潟のお米の農機具販売をしている会社に入社しました。今ではお米の国内販売、海外の輸出を行っています。

最近ですと、ギリシャとイスラエルに新潟米を輸出できて世界のどこかで新潟米が食べられているのが日々のやりがいです。

私は2018年から米山記念奨学生としての2年間を過ごしました。オリエンテーションの時に初めてカウンセラーの山宮さんと対面した日になります。昨日のように記憶が鮮明です。この2年間は新潟中央ロータリーの皆さんにお世話になりました。毎週お昼ごはん食べに来てもいいよと言われて毎週行っていました。授業の前のこの時間が孤独や寂しさを感じさせないすごく大事な時間でした。普段なら出会えない方やお話も聞けないような方々と出会えて、地区大会の時にスピーチをさせていただいたり、たくさんの機会を皆さんからいただきました。この2年間の経験は社会人として活躍できるスキルが身につくきっかけになりました。

また同じような悩みを持っている奨学生との交流も世界のどこかに仲間がいるという実感も米山事業で得られた宝物です。

2020年に入ってコロナになり、なかなか修了式やイベントができなくなって少し寂しいような時期に入ってしまったのですが、2022年に学友会の交流会があって新しく活動が始まりました。

新潟は奨学生や留学生の終了後の定着率が低く、なかなか残ってくれる人が少ないですが、そのメンバーでなんとか今後の今いる奨学生の皆さんにロータリーの皆さんと奨学生の皆さんが絆を作れるような場づくりというのを少しずつ頑張っています。

これからは2024.2025年度のイベントについて紹介します。

2024年11月16日に米山奨学生学友総会がありました。この総会は学友にとっても奨学生、カウンセラーの皆さんにとっても一番大事なイベントになっています。新潟にいる学友が近況報告をしたり皆さんと交流をもてたりする場なのでごく大事なイベントです。

毎年委員会の皆さんが何から何までこの場を作ってくださいいつも感謝しております。

去年は8名の学友の参加と、大勢の奨学生とカウンセラーの皆さんで楽しく時間を過ごしていました。

学友会の活動にあたり少しずつ定着した定期的なイベントをやりたいとは思いつつも、メンバーの皆さん時間の融通が利かない会社も多いので、頻繁にはできないですが、定期的なイベントを増やそうと思っています。

その中のイベントの一つが、新潟市立下山中学校の生徒たちとの交流会です。ご縁があって校長先生と一緒に作った場なのですが、中学生といろんなテーマでお話をしました。皆さん目が輝いていて楽しそうにしていました。交流会が終わった後に感想文をいただきました。中には外国に興味をもったきっかけとなった、日本以外の文化を知れてよかったといった感想をいただきました。こんな短期間でそのように思ってくれたことに驚きました。積極的な日本人が育つのではないかとおもうきっかけとなりました。

冬にはクリスマス会も行いました。こちらでも定期的に行いたいと思います。是非皆さんも来ていただければとても楽しいと思います。

公益財団法人 米山梅吉記念館

日本にロータリークラブの創立より近年までの歴史年表と米山奨学会の展示を行っている記念館です。

- 所在地/〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
- 電話番号/055-986-2946 ●FAX/055-989-5101
- 開館時間/午前10:00～午後4:00まで ●入館料/無料
- 休館日/月曜日、12月28日～1月4日、
整理のための休館日(5月・8月の特定日)



次週例会 10月29日 「地区大会報告」 柳取崇之 会長

次々週例会 11月 5日 「財団月間」
地区ロータリー財団委員会 補助金委員会
委員 嘉瀬一洋 会員



皆様の写真で
本週報の表紙を
飾って
みませんか？

今期の三条ロータリークラブ週報では、皆様より表紙の写真を募集いたします。
日常の風景から旅先のスナップ・渾身のワンカットなど、会員様の素敵な写真をご提供ください。
画像タイトル(キャプション)を入れてメールでお送りください。
宛先は渋谷会員宛「m-shibuya@san-in.biz」までお願いいたします。
※投稿者名を非掲載希望の方は、メール送信時にその旨ご記載ください。
※応募者多数の場合は掲載されない場合もございます。ご容赦願います。